

ニューエル氏（左右の写真、  
ともに中央）と、東京インター  
ナショナルスクール（TIS）  
の生徒たち。子どもたちの出  
身や人種はさまざまだ。



EJ Interview Vol. 2



# 柔軟な発想と行動力で 子どもたちを導く

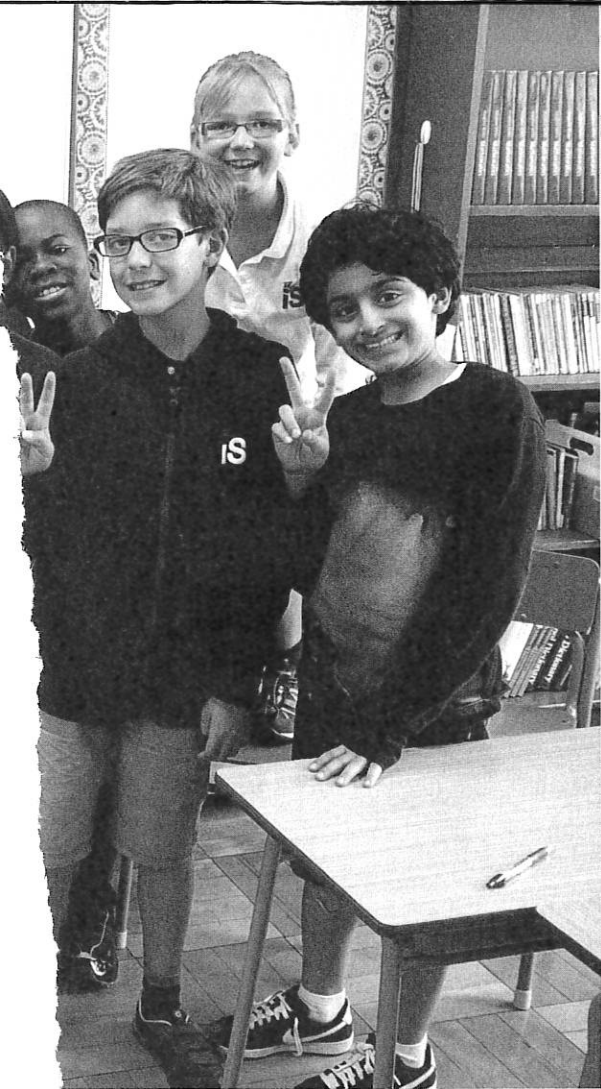
教育活動家

**パトリック・ニューエル**  
Patrick Newell

アメリカ、カリフォルニア出身。1991 年に来日。  
妻の坪谷ニューエル郁子氏と共同で、'94 年に幼稚園チルドレンハウス、  
'97 年に小学校、東京インターナショナルスクールを創設。  
2009 年に、21 世紀型の教育を提言する非営利団体 21 Foundation を設立。  
世界規模で幅広い分野のアイデアを共有するカンファレンス、TED のメンバーでもあり、  
その活動を日本で展開する TEDxTokyo の共同発起人にもなっている。

**Interview Data**

収録：2011 年 6 月 6 日  
場所：東京



どこへでも、ほとんどスケートボードと電車を出掛ける、カリフォルニア出身の気さくなパトリック。彼が1997年に生徒12人で始めた東京インターナショナルスクール(TIS)は、今や54カ国、340人の生徒が通う学校になりました。常に前向きで、クリエイティブなパトリックが創り出した教育環境は、生徒が心から楽しんで勉強でき、その保護者や職員にとっても、刺激的、かつ、心地よいコミュニティです。

そして、TISの学校方針にもあるように、彼はとても open-minded.

新しい物事や人の意見を柔軟に受け入れ、何かを始めることだけでなく、その流れに身を任せることにも長けています。また、「五感プラス1」を大切にしている、どうも彼には第六感が働くようです。

また、パトリックは、TEDxTokyo、21Foundationをはじめ、日本の児童養護施設にいる子どもたちを支えるNPOリビングドリームスや、「世界と日本をつなぐカタリスト（促進する人）」を目指す団体、IMPACT Japanも設立しました。「教育活動家/ビジョナビゲーター」という

肩書きは、彼の信念や、彼がエネルギーを集中させる大切さを知り、実践していることを、物語っています。

頭が柔軟で、クリエイティブだからか、人のためになる仕事をしているからか、パトリックは、年々、若くなっているようにさえ見えます。

彼は今、これまでにない、21世紀型国際的学童保育施設、グローバル学童 (<http://global-in.jp/>) の設立に向け、とても張り切っています。**鈴木亜矢子：東京インターナショナルスクール**